1:1 冗長性の設定

- 1:1 冗長性の前提条件 （1 ページ）
- 1:1 冗長性に関する情報 （1 ページ）
- 1:1 冗長性の設定方法 （2 ページ）
- 1:1 冗長性の構成例 （3 ページ）
- スタックモードの確認 （3 ページ）
- 1:1 冗長性に関する追加の参考資料 （4 ページ）
- 1:1 冗長性の機能履歴と情報 （4 ページ）

1:1 冗長性の前提条件

スタック内のすべてのスイッチがアクティブスイッチと同じライセンスレベルを実行している必要があります。ライセンスレベルについては、『*System Management Configuration Guide*』を参照してください。

スタック内のすべてのスイッチが互換性のあるソフトウェアバージョンを実行している必要があります。

1:1 冗長性に関する情報

1:1 冗長性は、スタック内の特定のスイッチにアクティブロールとスタンバイロールを割り当てるために使用されます。これにより、スタック内の任意のスイッチをアクティブまたはスタンバイにすることができる従来の N+1 ロール選択アルゴリズムが上書きされます。1:1 冗長性では、フラッシュの ROMMON 変数に基づいて、スタックマネージャが特定のスイッチについてアクティブとスタンバイのロールを決定します。このアルゴリズムは、1 つのスイッチをアクティブ、別のスイッチをスタンバイとして割り当て、スタック内の残りのすべてのスイッチをメンバーとして指定します。アクティブスイッチが再起動するとスタンバイになり、既存のスタンバイスイッチがアクティブになります。既存のメンバースイッチは同じ状態のままです。

1:1 冗長性の設定方法

1:1 冗長性スタックモードの有効化

1:1 冗長性スタックモードを有効にし、スイッチをスタック内のアクティブスイッチ、またはスタンバイとして設定するには、次の手順に従ってください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**enable** 例： デバイス> **enable**	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	**switch** *switch-number* **role** {**active** | **standby**} 例： デバイス#**switch 1 role active**	スタックモードを 1:1 モードに変更し、スイッチをアクティブまたはスタンバイとして指定します。
ステップ 3		

1:1 冗長性スタックモードの無効化

1:1 冗長性が有効になっているスイッチでは、次の手順に従って機能を無効にします。これにより、スタックモードが N+1 に変更されます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	**enable** 例： デバイス> **enable**	特権 EXEC モードを有効にします。 • パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	switch clear stack-mode 例： デバイス# **switch clear stack-mode**	スタックモードを N+1 モードに変更し、アクティブおよびスタンバイの割り当てを削除します。

1:1 冗長性の構成例

例：1:1 冗長性スタックモードの有効化

次に、1:1 冗長性スタックモードを有効にする例を示します。再起動後、スタックは指定スイッチをアクティブおよびスタンバイとして 1:1 スタックモードで動作します。

```
デバイス#
デバイス# Device 1 role active
WARNING: Changing the Device priority may result in a configuration change for that
Device. Do you want to continue?[y/n]? [yes]: yes
デバイス#
デバイス# Device 2 role standby
WARNING: Changing the Device priority may result in a configuration change for that
Device. Do you want to continue?[y/n]? [yes]: yes
Device#
```

例：1:1 冗長性スタックモードの無効化

次に、1:1 冗長性スタックモードを無効にする例を示します。

```
デバイス# switch clear stack-mode
WARNING: Changing the switch priority may result in a configuration change for that
switch. Do you want to continue?[y/n]? [yes]: yes
Switch#
```

スタックモードの確認

スイッチの現在のスタックモードを確認するには、特権 EXEC モードで **show switch stack-mode** コマンドを入力します。出力は、現在実行しているスタックモードの詳細なステータスを表示します。

```
デバイス# show switch stack-mode
Switch   Role    Mac Address    Version   Mode    Configured   State
-----------------------------------------------------------------
1       Member 3c5e.c357.c880             1+1'     Active'     Ready
*2      Active 547c.69de.cd00    V05      1+1'     Standby'    Ready
3       Member 547c.6965.cf80    V05      1+1'     Member'     Ready
```

Mode フィールドには、現在のスタック モードが表示されます。

Configured フィールドは、再起動後に想定されるスイッチ状態を参照します。

単一引用符（'）は、スタック モードが変更されていることを示します。

1:1 冗長性に関する追加の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
この章で使用するコマンドの完全な構文および使用方法の詳細。	リリースについては、『Command Reference』ガイドの「*Stack Manager and High Availability*」セクションを参照してください。

MIB

MIB	MIB のリンク
本リリースでサポートするすべての MIB	選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィーチャ セットに関する MIB を探してダウンロードするには、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs

シスコのテクニカル サポート

説明	リンク
シスコのサポート Web サイトでは、シスコの製品やテクノロジーに関するトラブルシューティングにお役立ていただけるように、マニュアルやツールをはじめとする豊富なオンライン リソースを提供しています。 お使いの製品のセキュリティ情報や技術情報を入手するために、Cisco Notification Service（Field Notice からアクセス）、Cisco Technical Services Newsletter、Really Simple Syndication（RSS）フィードなどの各種サービスに加入できます。 シスコのサポート Web サイトのツールにアクセスする際は、Cisco.com のユーザ ID およびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/support

1:1 冗長性の機能履歴と情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

リリース	変更内容
Cisco IOS XE Everest 16.6.1	この機能が導入されました。